

[補助要件]

- ・ 接触歴等が明らかとなる5名以上の感染者が発生し、**管轄保健所へ報告を行っている**こと。
- ・ 院内感染対応期間以外で、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入を行った実績があること。
- ・ 医療機関等情報支援システム（G-MIS）に新型コロナウイルス感染症患者の入院受入状況等を確実に入力していること。

[補助対象となる病床]

- ① 院内感染の発生により、**陽性患者**が入院した病床であり、当該患者が退院した後に病室の閉鎖などの事情により一定期間、空床にする必要がある病床
 - ② 院内感染の発生により、病棟を閉鎖したなどの事情により、休止せざるを得ない病床
- （②の補助上限は、①の病床に対して、**1床**（①がICU/HCU病床の場合は**2床**）までとし、①に陽性患者が入院中から算定可能）

[補助上限単価（円/日）]

ICU	151,000
HCU	106,000
療養病床	16,000
その他病床	36,000

[補助対象となる期間]

院内感染が発生した日から、最後の陽性者がコロナ療養解除となった日（上限）までの期間

[注意事項]

- ・ **施設要件や看護体制は、原則として重点医療機関と同等です。**
1看護単位（病棟単位）で対応していることが要件となります。
詳細は厚生労働省発出のQ&Aを確認してください。
- ・ **診療報酬が発生している病床は補助対象外です。**
例えば患者1名が昼で退院した場合など、その日、診療報酬が発生している病床は補助対象となりません。
- ・ **休止病床数の補助上限は、あくまで上限です。**
例えばある1日における休止病床の補助上限が12床のときであっても、実際の休止が10床であれば、12床ではなく、10床が補助対象です。

[補助対象範囲の例]

☆1 県から新型コロナ病床の確保依頼を受けている医療機関

[重点医療機関 (特定機能病院、特定機能病院以外)]

(1) 病床を確保している病棟とは別の場所で院内感染が発生し、
従前のコロナ病床もそのまま運用した場合

3階東病棟 (県から依頼を受け病床を確保した病棟)



301、302で
1看護単位を満たす
→通常の重点医療機関として申請

	コロナ陽性患者の対応をした病床
	県から依頼を受け確保した病床
	コロナ対応のため休止した病床 (診療報酬が発生していない病床)
陽	陽性患者

4階西病棟 (院内感染が発生した病棟)



411～415で1看護単位を満たす
→院内感染対応分として申請 (休止病床の上限は6床まで)

(2) 病床を確保している病棟で院内感染に対応した場合

※特定機能病院で(2)に該当する場合は、別途ご相談ください。

3階東病棟 (県から依頼を受け病床を確保した病棟)



301～307で1看護単位を満たす
・301～302 通常の重点医療機関として申請
・303～307 院内感染対応分として申請
(休止病床の上限は6床まで)



[補助対象範囲の例] ※前ページからの続き

☆1 県から新型コロナ病床の確保依頼を受けている医療機関（続き）

[重点医療機関以外でコロナ病床を確保している医療機関]

(1) 病床を確保しているところとは別の場所で院内感染が発生し、従前のコロナ用病床もそのまま運用した場合

→ 重点医療機関（1）と同様

(2) 確保している病棟で院内感染に対応した場合

3階東病棟（県から依頼を受け病床を確保した病棟）



☆2 ☆1以外の医療機関

4階西病棟（院内感染が発生した病棟）



[補助対象範囲の例] ※前ページからの続き

☆3 病床状況報告書への反映

(院内感染対応期間における「即応病床」「休床」の考え方)

- [即応病床とは]
- ・コロナ陽性患者の対応をしている病床 (下記「●」の病床)
 - ・コロナ陽性患者の退院後、同室に他の陽性患者がいるため空床にする必要がある病床 (下記「空床」の病床)

- [休止病床とは]
- ・病棟の閉鎖のために休止した病床
 - ・コロナ対応で多床室を個室化するために休止した病床
 - ・コロナ対応の人員を確保するために休止した病床 等

補助対象期間

		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	
1 看護 単位	A号室	①	●	●	●	空床	空床	休床	休床
		②	●	●	●	●	空床	休床	休床
		③	●	●	●	●	●	休床	休床
		④	休床	休床	休床	休床	休床	休床	休床
	B号室	⑤	●	●	●	●	●	●	○
		⑥	●	●	●	●	空床	空床	休床
		⑦	休床	●	●	●	●	空床	休床
		⑧	休床	休床	休床	休床	休床	休床	休床
	C号室	⑨	●	休床	休床	休床	休床	休床	休床
		⑩	休床	休床	休床	休床	休床	休床	休床
		⑪	○	○	○	○	○	○	○
		⑫	休床	休床	休床	休床	休床	休床	休床

●：陽性患者が入院中 (退院当日含)、○：他疾患患者、コロナ療養解除後の患者

☆1、☆2、及び上記の考え方をもとに、補助対象となる病床の使用状況 (上記の例の場合、A・B号室の状況) を病床状況報告書に記載してください。

種別	病床の分類		病床数及び入院者数推移						
			●月						
			1	2	3	4	5	6	
その他 病床	稼働 病床	即応病床 (A)	病床数	5	6	6	6	6	3
		総入院患者数 (B)	入院者数	5	6	6	5	3	1
		うち新型コロナ関連患者数	入院者数	5	6	6	5	3	1
		うちその他患者数	入院者数	0	0	0	0	0	0
	空き病床数 (A-B)	病床数	0	0	0	1	3	2	
	休止 病床	病棟閉鎖のため休止	病床数	5	5	5	5	5	3

※赤字部分は自動計算